

市民目線からのごみ減量の取り組みについて

特定非営利活動法人おおつ環境フォーラム 事務局長
大津市「ごみ減量と資源再利用推進会議 女性懇話会」メンバー(会員)
吉本美枝子

* はじめに

- ◆ 大津市では大阪都市圏の拡大による人口増加の影響を受け、昭和40年代からごみの排出量が急増
- ◆ 昭和52年10月「ごみ非常事態宣言」が大津市議会で決議
- ◆ 昭和56年5月30日「ごみ減量と資源再利用推進会議」発足

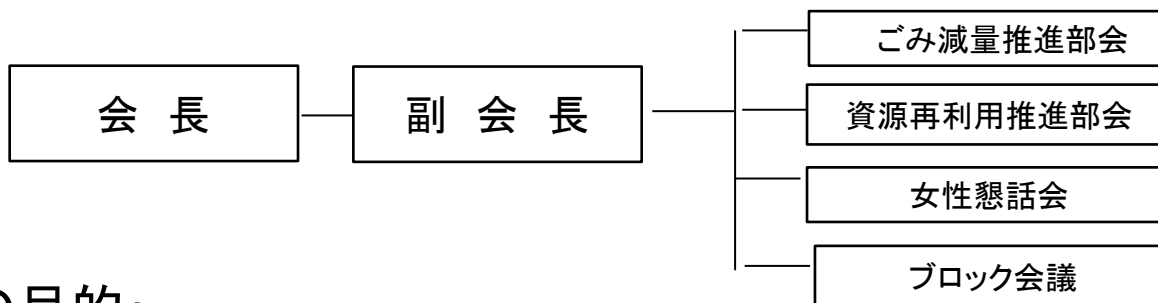


「ごみ減量と資源再利用推進会議」について

◆ 構成：

学区自治連合会、商工団体、事業者、市民、大津市

◆ 組織：



◆ 活動の目的：

- ・市民一人ひとりが、ごみ問題を自らの生活環境を守る自らの問題として認識し、分別収集と再利用運動を全市的に展開する
- ・実践活動を通して資源循環と環境への負荷低減を考える心を育てる

◆ 事業：

- ・ごみ減量、資源回収運動の未実施自治会等に対する同運動の働きかけ
- ・「六つの基本マナー」等の実践指導
- ・ごみステーションの監視と正しいごみ出し運動の推進
- ・地域住民等に対するごみ教育の実施 等

「ごみ減量と資源再利用推進会議」のこれまでの活動

◆ これまでの活動内容：

- ・「指定紙袋排出制や指定透明袋制の導入」
- ・「ペットボトルの収集、プラスチック製容器包装収集等」の提案とモデル収集の実施
- ・資源再利用化のための不用品交換会や啓発イベント
- ・ノーポイ運動
- ・過剰包装抑制のための店舗への協力依頼
- ・お買い物もの袋持参運動
- ・食品ロス削減運動
- ・古着・古布の回収イベント 等

主な取り組み事例(1)

普及啓発事業

◆ リサイクルフェア

市民が体験しながらごみについて学ぶことができる啓発イベント。「ごみ分別クイズ」や「家庭の省エネ簡易診断」など参加・体験コーナーやリユース品大抽選会などを実施



(ごみ分別クイズ)

リサイクルフェア



(客席の様子)

◆ 3010運動・冷蔵庫10検運動

市内で約2,700トン発生している「食品ロス」の削減を推進するため、広報おおつや廃棄物減量推進課のホームページにおいて食品ロス削減啓発の記事を掲載

◆ 食品ロス削減の啓発運動

- ・てまえどり運動
- ・フードドライブ
- ・3きり運動:「使いきり」、「食べきり」、「水きり」



(3010運動チラシ)

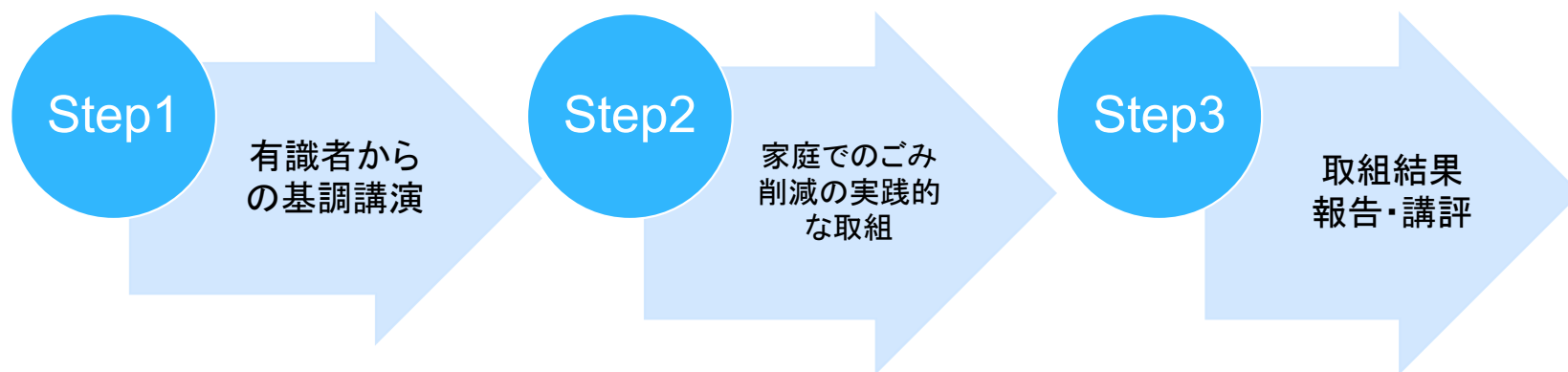


(冷蔵庫10検運動チラシ)

主な取り組み事例(2)

「キッチンからカーボンニュートラルを目指そう」事業(令和5年度)
「大津市」×「女性懇話会」×「大津市地球温暖化防止活動推進センター」

「キッチンからカーボンニュートラルを目指そう」をテーマとし、ひとりひとりの行動変容と実効性のあるごみの削減取組、その先にある循環型社会の構築、カーボンニュートラルの実現を目指す。



☑ Step: 1

基調講演「キッチンから考えるカーボンニュートラル」
立命館大学食マネジメント学部教授 天野耕二氏

私たちの食とごみ問題、水資源
等資源循環、地球温暖化など幅
広く環境問題について勉強した。



↑基調講演を行う天野先生と女性懇話会のメンバー

☑ Step: 2 家庭でのキッチンからのごみ減量に係る実践取組

◆ 3つのシーンで取り組み

「買い物時」「料理を作る時」「食事の時、後片付けの時」

◆ 「食品ロス削減」と「エネルギー削減」について自己評価した。

☑ Step3:

家庭でのキッチンからのごみ減量に係る実践取組 結果報告

◆ メンバーの多くが実践した取組

シーン1: 買い物時

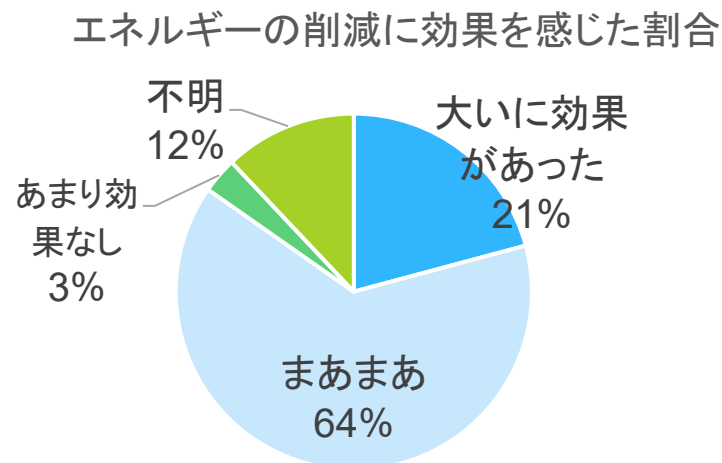
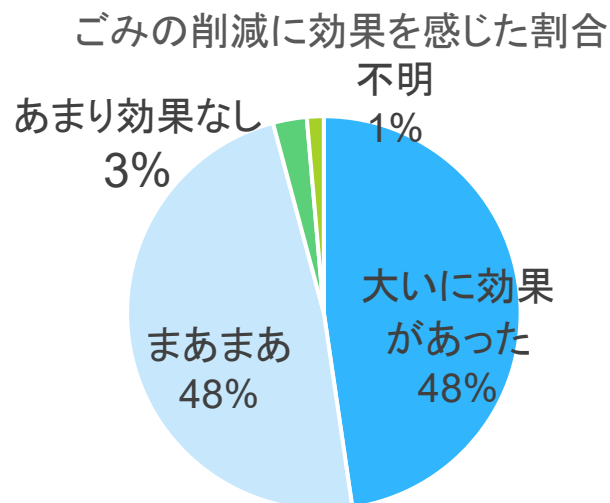
- ・買い物メモを作成して、必要なものだけ購入
- ・冷蔵庫、食糧庫などの在庫管理
- ・冷蔵庫の整理整頓
- ・包装なし、簡易包装、詰め替え商品を選ぶ

シーン2: 料理を作る時

- ・使い切れない食材は下処理をして冷蔵・冷凍
- ・適量を調理

シーン3: 食事の時、後片付けの時

- ・残った料理は容器に入れて冷蔵・冷凍保存
- ・汚れた食器は拭ってから洗う
- ・まとめ洗い、食洗器を利用



主な取り組み事例(3)

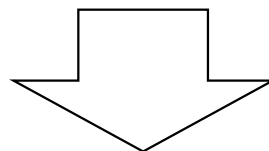
①「女性懇話会」プラスチックごみ分別(案)の検討

[背景]

- 令和3年に新焼却施設が稼働(ごみ発電を備えた新施設)
- 令和4年4月に施行された新プラ法をうけて、プラ製品の分別の基準を策定することが義務付けられた。

[検討テーマ]

プラ製品を



分別してリサイクル

+

焼却して発電

→両側面の特性を併せた分別基準を検討

[大津市の分別基準(案)の提案]

①素材について

- 単一プラスチック素材であるもの

②大きさについて

- 40cm未満の大きさのもの

③汚れの程度について

- 軽く水ですすいで汚れや匂いが取れるもの

→「すべてプラスチックでできたもの かつ 40cm未満 かつ 汚れ・臭いのないもの」と提案

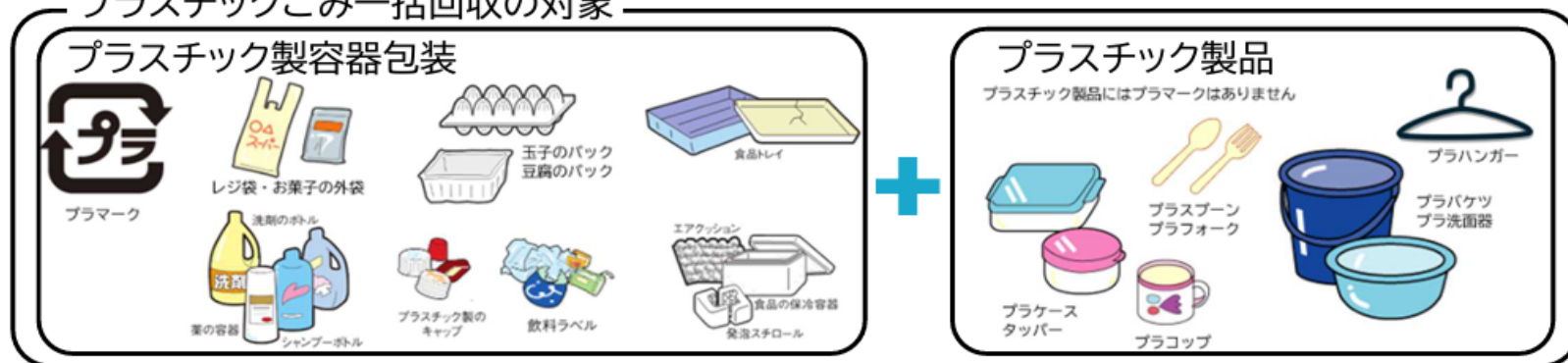
②モデル事業について

(市が実施、女性懇話会メンバー協力)

○大津市3学区においてプラスチックごみ一括回収を実施

○「すべてプラスチックでできたもの かつ 40cm未満 かつ 汚れ・臭いのない」ものを「プラごみの日」に指定ごみ袋にまとめて出す

プラスチックごみ一括回収の対象



収集結果：

令和6年10月、11月、12月、3地域596世帯を対象に実施
従来に比べて**収集量が27%増**となった。

→結果を受けて大津市では実現可能性についてさらに検討中

容器包装の削減とリサイクルの促進に向けて ～市民目線で見た課題・提案等～

○市民のリサイクルに取り組むモチベーションの向上

- ・リサイクルのプロセス、リサイクル製品の社会への還元が見えない
→見える化の推進による市民へのPR

○川上側での取り組み

①簡易包装の推進

- ・製造、販売過程における過剰包装を自粛
例えば：野菜をプラスチックトレイに入れて、さらにフィルムで巻いて販売、水の入った袋にカキ（魚介類）を入れ、トレイに乗せて、さらにフィルムで巻いて販売 などなど

②リサイクルしやすい製品の設計（環境配慮設計）

- 安全面、衛生面を考慮し、業界全体としての取り組みを期待

○分別のルールを分かりやすく

- ・包装や容器の「汚れ」の判断基準があいまい
→質の高いリサイクルのための統一的なルールを定め、市民へ情報提供